

平成22年第2回臨時会

飯 島 町 議 会 会 議 録

平成22年2月4日 開会
平成22年2月4日 閉会

飯 島 町 議 会

平成22年 第2回飯島町議会臨時会議事日程

平成22年2月4日 午前10時00分 開会・開議

1 開会（開議）宣告

1 議事日程の報告

1 町長議会招集あいさつ

日程第 1 会議録署名議員の指名について

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 諸般の報告

日程第 4 第 1号議案 平成21年度飯島町一般会計補正予算（第7号）

1 町長あいさつ

1 閉会宣告

○出席議員（12名）

| | |
|----------|----------|
| 1番 久保島 巖 | 2番 中村明美 |
| 3番 坂本紀子 | 4番 浜田 稔 |
| 5番 堀内克美 | 6番 倉田晋司 |
| 7番 三浦寿美子 | 8番 北沢正文 |
| 9番 竹沢秀幸 | 10番 宮下 寿 |
| 11番 平沢 晃 | 12番 松下寿雄 |

○説明のため出席した者

| 出席を求めた者 | 委 任 者 |
|-----------------|---|
| 飯 島 町 長 高坂宗昭 | 副 町 長 箕浦税夫 総 務 課 長 中村澄雄 住民福祉課長 中村芳美 産業振興課長 鎌倉清治 建設水道課長 塩沢兵衛 会 計 課 長 豊口敏弘 |
| 飯 島 町 教 育 委 員 会 | 教 育 長 山田敏郎 教 育 次 長 浜田幸雄 |

○本会議に職務のため出席した者

| | |
|---------|---------|
| 議会事務局書記 | 千村 弥 紀 |
| 議会事務局書記 | 伊 東 晴 子 |

本会議開会

開 議 議 長 平成22年2月4日 午前10時00分
おはようございます。
ただ今から、平成22年第2回飯島町議会臨時会を開会します。
議員各位には、慎重なご審議をいただくとともに、円滑な議事運営にご協力いただきますようお願いをいたします。
これより本日の会議を開きます。
本日の議事日程についてはお手元に配布のとおりです。
開会にあたり、町長からご挨拶をいただきます。

町 長 おはようございます。臨時議会の招集にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。平成22年1月27日付飯島町告示第3号をもって平成22年第2回飯島町議会臨時会を招集をいたしましたところ、議員各位には時節柄ご多忙中にもかかわらず全員の皆様のご出席を賜り心から厚くお礼を申し上げます。早いもので今日は二十四節気の一つ立春を迎え、一昨日は雪も降りましたが、少しずつ日の濃さを感じつつ、花の便りもそろそろ聞かれる季節となってまいりました。
さて1月29日に財務省長野財務事務所の発表した最近の長野県内の経済情勢によりますと、厳しい状況にあるものの一部に持ち直しの動きがみられるというふうにしております。特に企業の景況感では大企業では上昇、中小企業が下降となっております。法人企業の景気予測では製造業全体の平成21年度の経常損益は増益がまあ見込まれるというふうにされているところでありますが、その一方で雇用情勢は依然として極めて厳しい状況が続いておまして、雇用なき景気回復になるのではないかという懸念をいたしておる次第でございます。そうした中、最近、姉妹都市を結んでおりますブラジルのフェラース市の知人からの便りによりますと、日本のまた飯島町の企業で派遣社員として勤めておりましたが不況により解雇、帰国を余儀なくされた多くの人たちがブラジル経済の好調に支えられて、飯島の企業で学んだ技術を生かしながら多くの企業に再就職をしてそれぞれの職に就いて活躍をしておるというお話をお聞きしまして大変嬉しく思っておる次第でございます。
さて近年のこうした経済情勢の中で国は昨年5月29日に過去最大規模の第一次補正予算を編成をし、地域活性化・経済危機対策の臨時交付金事業、及び地域活性化公共投資臨時交付金事業などの予算措置を行ったところでございます。当町におきましては地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び緊急雇用の創出基金事業の追加分などの事業につきましては、昨年7月開催の臨時議会において総額で180,000,000円を財源とする補正予算を編成し、現在各種の事業を執行をいたしておるところでございます。しかしもう一方のこの地域活性化の公共投資の臨時交付金事業につきましては、当時なかなか事業の詳細が見えないところがございまして情報収集に苦慮をいたしてきたところでございますが、今回、飯島小・中3学校への太陽光発電施設の整備事業がこの交付金事業の対象になるこ

とが見込めることとなりましたので、国庫補助金とこの交付金そして補正予算債などを財源としてその大半を国の財源によって事業をできる見込みとなってまいりました。更に去る1月29日に成立をいたしました国の第二次補正予算において、地域活性化きめ細やかなこの臨時交付金事業を行うことといたしましたので、今回、臨時会において必要な補正をお願いするところでございます。そこで今議会臨時会にご提案申し上げます案件につきましては、今申しあげました2つの交付金事業に関わる補正予算案件が1件でございます。なにとぞ慎重な審議をいただきまして、適切なる決定を賜りますようお願いを申し上げます。して議会招集のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

議 長 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第115条の規定により、6番 倉田晋司 議員、7番 三浦寿美子 議員を指名します。

議 長 日程第2 会期の決定を議題とします。
本臨時会の会期につきましては、議会運営委員会において協議しておりますので、議会運営委員長の報告を求めます。

堀内議会運営委員長。 会期につきましてご報告を申し上げます。本日午前9時10分から議会運営委員会を開催いたしまして、本臨時会の会期につきまして審議を行いました。提出案件等の内容からいたしまして、会期につきましては本日1日限りとさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げまして報告といたします。以上です。

議 長 お諮りします。ただいまの委員長報告のとおり、本臨時会の会期は本日1日限りとしたいと思ひます。

ご異議ありませんか。
(異議なしの声多数)
議 長 異議なしと認めます。従って会期は本日1日限りとすることに決定しました。堀内委員長自席へお戻りください。

議 長 日程第3 諸般の報告を行います。
議長から申し上げます。折山議会事務局長は病気療養のため出席しておりません。なお、議会事務局長職務代行を千村書記に、書記の職務代行を伊東職員に要請し出席しております。次に本会議に説明員として出席を求めた方は別紙のとおりであります。
以上で諸般の報告を終わります。

議 長 日程第4 第1号議案平成21年度飯島町一般会計補正予算(第7号)を議題とします。事務局千村書記より議案を朗読させます。

(議案朗読)
議 長 本案について提案理由の説明を求めます。

町 長 それでは第1号議案平成21年度飯島町一般会計補正予算(第7号)について提案理由の説明を申し上げます。予算規模につきましては歳入歳出予算の総額にそれぞれ

189,136,000 円を追加し、歳入歳出それぞれ 5,266,871,000 円とするものでございます。今回の補正につきましては小・中学校3校へ太陽光発電施設を設置する経費といたしまして、約 123,000,000 円を計上いたしました。これは国庫補助金と地域活性化公共投資臨時交付金及び補正予算債を活用して実施をするものでございます。なお年度内の事業完了は不可能であるために繰越事業としての予算措置も併せて行うものでございます。また去る1月29日成立をいたしました国の第二次補正によります地域活性化きめ細やかな臨時交付金事業への対応といたしまして、公共施設等の修繕などに約 69,000,000 円を計上いたしました。主な内容につきましてはこれまで財源等の事情の中でなかなか実施できずに先送りしてきた地元要望も強い事業が中心でございます。道路舗装、補修、防犯灯蛍光灯からLED、これはまあ低電力消費の蛍光灯というふうと呼ばれておりますけれどもLEDへの取り換え、地域活動支援センターの大規模補強工事、その他公共施設の小修理等々でございます。いずれの事業につきましても事業の趣旨に従いまして地元企業の受注機会に配慮するなど、できる限り地元への経済効果が現れるように発注方法に配慮しながら事業を進めてまいりたいと考えております。その他細部につきましては担当課長からそれぞれ説明を申し上げますので、よろしくご審議をいただきましてご議決賜りますようお願い申し上げます。

総務課長 (補足説明)
 住民福祉課長 (補足説明)
 産業振興課長 (補足説明)
 建設水道課長 (補足説明)
 教育次長 (補足説明)
 議 長 これから質疑を行います。質疑はありませんか。
 7番
 三浦議員 ただいまの説明を受けましたけれども、お聞きしたいのはあの在宅障害者福祉事業ということで、こまくさ園のそのあの大規模の改修があるということなんですけれど、その間の利用者の皆さんには影響というのはないんでしょうか。場所を移してとかそんなようなこともないのでしょうか。その辺をお聞きしたいと思います。もう1つは農地有効利用で先程あの用水路の改修をということだったんですけど、場所について5箇所と言われたような気がしますけれども教えていただきたいと思ひます。以上です。

住民福祉課長 それではご質問にお答えをいたします。工事の関係につきましては基本的に3カ月掛ると思われまふ。従いましてその間あの人命尊重を第一にいたしますので全面的に閉鎖せざるを得ないという状況になりますので、社会福祉協議会とも相談をしながら代替施設に移っていただくような方法で検討中でありまふのでよろしくお願ひをいたします。

産業振興課長 それではあの、農地有効利用のからみで5箇所の予定の箇所でございますが、まず平成21年度の7月の経済危機対策の交付金でお願ひをいたしましたこの事業でございますが、その継続分、要するにやったところでどうしても継続して延長を伸ばしたりしなくちゃいけないところが七久保地区の滝ヶ原の所が1箇所、それから飯島地区の石曾根地区が1箇所、それから田切の春日平地区が1箇所、この3箇所については継続分で行うところでございます。それから新たなところでございますが、飯島の岩間地籍、まあ広域農道の上になりますますがそこが1箇所、それから本郷の第六地籍が新たに1箇所ということで、継続が

議 長 3箇所新たな箇所が2箇所ということでございます。
 5番 他にありませんか。
 堀内議員 太陽光発電工事業の発注についてお伺いしたいと思います。まあそれぞれ事業が何千万、合計すると1億以上の3箇所で事業費となるわけです。まあこういう大きな事業費は通常一般競争入札等でやられるのが常だと思ひますが、この事業についてどんなふうにするか予定をされているかお伺いしたいと思います。

11番 平沢議員 ちょっと関連でお願いします。太陽光発電の整備設置工事についてちょっと3点ほど今の併せて、堀内議員のと併せてお伺いしたいと思います。一応今の状況下を見た場合、町内の経済活性化また雇用機会の拡大といった観点についてちょっと3点ほどお願ひをしたいと思います。今、堀内議員の方からありました入札者の条件これは一応どのような設定をしているか、まあ当町の建設工事また競争入札参加資格者でまあ本町に本社を有する登録者が該当になっているのか。それから2点目として設計についてはまあ当町にまあ一応、中学校の関係においてはマイナス補正をしてありますが、設計について一応当町に有する設計者であるのか、それからまたその設計図についてその閲覧、この方法はどのように行うか。それからもう1点この本工事はこの3校あるわけですがこれを別途発注ができるのかできないのか。まあこの以上3点についてお願ひをしたいと思います。併せて、

教育次長 今ご質問ございました地元業者への発注方法等についての関係でございますが、文部科学省でおきましてこのスクールニューディール構想を提唱した中で、このエコ化については学校への太陽光発電導入をメインとして国の方においても予算を確保してきたところでございますが、この太陽光発電を導入するについて文部科学省においてはその導入運用時の留意事項としまして、技術的水準の向上に結びつく設計・施工に留意、それから維持管理面、それから複数学校の設置工事をまとめる工夫、それから複数学校を同時に設置する場合の発注方法、それから環境教育に有効な技術面と運用面、それから地元業者への受注機会の増大、これらに触れましてその手引書としまして学校への太陽光発電導入ガイドブックを出しているところでございます。太陽光発電につきましては電気事業法上発電用の電気工作物いわゆる発電所となりまして、工事につきましては電気工事業者となります。一般的には先程お話ありましたように、工事の発注方法は指名競争入札方式、もしくは一般競争入札方式をとるのが通常でございますが、当町の場合3校を分割して発注した場合においても発注基準の格付ランクで該当する業者がおりません。それである文部科学省ではこうした自治体によっては適用可能な企業がない場合の対応として、従来の発注方式のほかに複数施設の発注方法として設計・施工・運用等の一括発注方式、これを提案しております。この方法によりますと従来分離発注をしていた設計・施工・運用等を一体的に契約する方式で、元請け業者につきましてもコンサル、建設の資格を持つ電気工事業者となりますけれども、この元請け業者と下請け契約を結ぶことによりまして設計、電気工事、建築工事等に分割をして地元業者への工事実施と育成面、すなわち太陽光発電に対する技術習得等ができるとしております。同時に物品の一括購入によるコスト低減また各学校間の品質の均一等を保つこと等の利点を挙げております。またあの技術提案型のプロポーザル方式をとることによりまして、業者選定の段階で地元業者の活用についても提案を受け

ることが可能となると考えております。こうした方式も含めながら地元業者がこの事業に関わり、かつ今後を生かす技術の習得等、地元業者の育成等も考慮した中で発注方法について検討していきたいというふうに考えておりますのでお願いいたします。

5番
堀内議員

私のお聞きしたのはその細かい部分はお聞きしてないんですが、私は町長さんにお伺いしたいと思うんですが、この工事さっき言ったように非常に規模大きくなりますので、本来なら飯島の場合にも一般競争入札が妥当な金額かなと私はあのそうに思ってますが、それをどうのように発注するか、あるいはそれを指名にするんだか、一般にするんだかその点をお伺いしたいのと、今言った地域というのは飯島町が地域なんだか、地域というのは例えば伊南が地域なんだか上伊那が地域なんだかその点についても併せてお答えをいただきたいと思います。

町長

まあこの多額なまあ事業費を伴っての事業でございますので、競争性それから透明性それぞれ加味しながら、あの具体的には副町長以下で所管いたします業者選定委員会の中で十分議論をしなきゃいけないということだと思いますけれども、今も説明申し上げましたように、いわゆる提案型のプロポーザル方式というものを主眼に十分選定委員会の中で検討をしてほしいというふうに私としては思っております。それから地域のことについては次長の方から申し上げます。

教育次長
11番
平沢議員

地元業者というのはこちらの方としましては町内業者というように捉えております。

今入札の件は今お聞きしましたが、ちょっと他町村もあるんですが、こういうのを参考にして一応今言うように分離発注というような形の中で、その関連工事あるいはまあ校舎の増築はありませんので、例えばその屋根に載せる形の中で既存の屋根の改修とか、それからあるいはこの架台ですねパネルを乗せる、こういうものも一括発注か、あるいはパネルはそういうものから取り寄せれるような可能であります。先程聞いたら飯島にはそういう一括して受ける該当無いと言うけれど、今のような分離発注的なもので取り組んで、やはり地域のこの活性化とか雇用拡大、そういうものも合わせた形の中で考える余地はあるのかないのかお聞きしたいと思います。

教育次長

この太陽光発電につきましては先程も申し上げましたように発電用の電気工作物扱いになりまして、この地元業者を如何に関わらせるかということを検討した中では、この一括発注が一番いいのではないかなというところでは検討をしているところでございます

議長
8番
北沢議員

他にありませんか。

2点程お伺いしたいと思います。1つは今の太陽光発電の関連でございますけれども、1キロワット当たりの工事費がですねそれぞれ3校違うわけでありましてけれども、システム上の違いなのかそれともその他の要因によるものなのか、そのシステムが3校とも違うのか、そんな点について少し説明をいただけたらと思います。それからもう1つはLEDの防犯灯の件でございますが、先程の説明でいきますと約町内1,100基ありましてその内500基を対象ということでございます。これに関する将来の電気料でございますけれども370,000円程まあ減額されるということでございますが、この1,100基おそらく

耕地が管理しているものも含まれると思います。そこで単価的なものはこういった防犯灯の場合定額で契約されていると思いますが、370,000円というのは20キロが10キロに落ちることによるいわゆる電気料の減額なのかどうか、としますとですね、各耕地で維持費は全部を管理しているわけでございます、500基の割り振り、こういったものをどのようにするか、耕地では非常にあのその後の維持費が大きいわけでございます、これがかうまく配分されないと耕地によって後の維持費が安くなる、高くなる、そのまま維持されるということについては非常に大きな関心事になると思いますので、どのようなお考えであるか。それからもちろんあの先程LEDの関係についてはまあ15年ぐらいの電球の交換、いわゆる取り換えが不要であるということでもありますので、その分についても大きな維持費の軽減が図られるわけでもあります。まあそういったものの維持費が各耕地から支払われるとこんな状況でございますので、この500基をどのように対耕地に対して配分しているのか、そんな点についてお伺いをさせていただきたいと思います。またあのその定額、もし20キロが10キロでない、落ちる方向でないことで370,000円を計算されているとしたら、中電等に対してそういった定額料金の減額についてのいわゆる要請とかそういった点について行われるのかどうか、この点についてもお伺いしたいと思います。

教育次長

太陽光発電につきましては工事費の関係でございますが、先ずあの工事費につきましては国で定めた基準この単価が決まっておりますのでそれによって算出をしております。40キロから50キロ未満につきましては1キロワット当たり850,000円、それから50キロ以上につきましては100キロ未満まで1キロワット当たり800,000円で計算をしております。それに加えまして先程申しました補助対象とならない町費の上乗せ分、これを飯島小学校については1,000,000円、七久保小学校についても1,000,000円、飯島中学校につきましては39,000円、これを加えて工事請負費として計上させていただいておりますのでお願いいたします。

総務課長

防犯灯につきましては1,100基位あるわけでございますが、その内39基が町が電灯料を払っているものであります。先ずあの町が電灯料を払っている部分につきましては全部取り換えをしたいと思っております。で、残りの部分につきましてはあの耕地で管理している防犯、それから区が一括管理している防犯灯があります。全部一括でできればいいんですが今回は500基位しか、まあちょっと発注してみないと単価がわかりませんけれども、ですので先程の電灯料の料金に跳ね返ったり維持修繕の額に影響を及ぼしてきますので、均衡がとれる形でまあ設置してある数の割合に応じてやらざるを得ないのかなというふうに思っておりますが、地元の実際に管理している皆さんとちょっと協議をしてどういう方法でやっていくのか、耕地でも例えば10期の内5基やるっていった場合にどれを選択するのかなかなか難しいこともありますし、耕地の管理の方法もあると思いますのでちょっと相談をしていきたいと思いますが、基本的には均衡のとれた形に全体を割り振りたいという考えで現在おります。それからもう一つ中部電力とのPRで昨日もちょっと懇談会があったわけですが、現在の蛍光灯は20ワットという形になっておりまして、これ1カ月当たり定額料金で159円39銭かな、それが今度は97円02銭になります。それで今回われわれが設置するLEDは10ワットですので、この20ワットまでという97円という額をまあ更にPRも兼ねて減額をしてほしいという要望を出しましたが、やっぱりああいう組織の中ですので即答はできないということですが、やっぱり皆でこうPR

しているんな面でいい効果が出てきますので、町としてもそういうPRに努めていきたいと思ひますし、来年度から防犯灯の設置を新規で町に要望してくる場合はLEDにしてほしいということで、それを条件に補助金を出していきたいということも今検討してところでございます。

議 長 他に。

5番 堀内議員 今の関連ですが、まあ約3分の1くらい今度やるんですね、それでそういうことで料金に影響があるという各耕地にそれぞれの支出が少なくなるということになるんで、これから計画的にもそういう方向で整備を進めていくということに解釈してよろしいでしょうか。

8番 北沢議員 今の質問に関連でございますけれども、当然LEDの工事費についてはですね工事費が高くなるということが予想されるわけでありまして。で現在の町の補助金の要綱をですねLED対応の補助金、特別枠というようなものを設けて、それを推奨していくこういったような考え方があるかどうかについても関連してお伺いしておきます。

町 長 まああの1, 100基位の内の500基位ということでまあ残り600基位という話になります。まああの財源見通しをつける中でやはりあの残ったものをそのまま永久にということも如何かなというふうに思ひますので、今回の補正あたりではちょっと取り組みませんけれども、年次的にまあ計画的にひとつ財源を求めて実施をしていきたいと、でやはり基本的には少し町全体がパッと明るくしたいというような一つの考え方の中で取り組んでまいりたいというふうに思ひしております。従ってあの現行の補助率、補助制度もそのまま据え置きながら、実施事業費も少しまあ低減されるというようなこともございますので、メリットはあると思ひますので、引き続いて続けてまいりたいというふうに思ひしております。

総務課長 防犯灯の設置の補助金については、現在は普通の蛍光管という器具を使つての補助になっておりますので、これからLEDに全て補助対象LEDだというふうにしていきますとやはり工事費がかかりますので、今その補助金の額をどのくらいにするかということは今検討しておりますので、ちょっと今までと同じ額で打ち切りというのはちょっとかなりの負担がかかってまいりますので、今検討中ということでご了承願ひたいと思ひます。

議 長 他に。

4番 浜田議員 私自身あのLED発光ダイオードに切り替えるということは全体としては大変賛成です。ただ一方でですね、あの白熱電球や蛍光管と比べましてこの技術はまだ規格が定まっていないという問題が一つあります。あの安全性ですとか特性についてですね。それからもう一方で非常に値下がりの過程にあるということもありますので、あの全体としてはあの進めるべきだというふうには思ひますけれども、是非そういう技術的な面での検討をですね別途行わないと無駄な投資になりかねないと思ひますが、そのあたりについてのお考えをお伺ひしたいと思ひます。

総務課長 ご指摘の通りだと思ひますので、情報収集をしたりと町村でももう既に飯島町に先駆けてやっているところもございまして、いろんな情報収集をしながら検討を加えて事業を

進めていきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願ひします。

議 長 他にありませんか。

9番 竹沢議員 今回の補正のあの主なものはあの太陽光発電であるわけでありまして、今年の6月当時の経済対策で補正をしたわけですけれども、長野県下の中でもお聞きするとあのその当時の補正でこの事業着手してしまうと事業規模の問題ですとかまあいろいろで問題があったということと、一方でスクールニューディール構想等をですね文科省のこの太陽光発電に対する制度の中身等々が当初とですねこの間に大幅に変わってきたということの中で、まあ町としてあの当時早めに着工することなくてですね、状況を見ながら一般財源を如何に少なくして財源を確保してこの事業に取り組むかということで、大変あの結構なことだと思ひますが、これはですからその例えば4ページの繰越明許でみると飯中が64,000,000ほどになってますけど、これは要するに6月の時の23,000,000かな、繰越もあつて64,000,000繰越明許があるとそういう理解だと思ひるので、そうすると実際はあの総額で150,000,000近い事業が今回行われるとこういふことだと思ひます。そこで2点お伺ひいたします。1つはあのこの間私も個人的に飯島小学校環境委員会の技術エココンクールというのが飯田でございまして、そのコンクールにちょっと行ってきました。町でもそういうのをご覧になったようですけども、そういう意味であの教育環境というのを推進していくのは大事な課題でありまして、本事業の中でも例えば常時児童生徒がCO2の削減量あるいは発電量が見れる、そういう表示板でどうか何かそういうものを設置されることもやるようですけども、これはあのどこへ具体的にそういうものをやるのかということと、それから45キロ～80キロの発電で3校行つたわけですけども、余つた電気は売電するということになるかもしれませんが、まあ季節によってということと都会と田舎では発電量が気候のせいで違つたとそういうこともあるようですけども、概ねどの位のものを想定されているのか、以上2点についてお伺ひします。

教育次長 子ども達への教育の関係につきましては、これからそこら辺も含めた中での提案をいただこうかというような考えでおりますけれども、基本的には3校同じ考えで教育に活かしていくような格好で考えております。それからあの経済効果、環境効果の関係だと2点目は思ひますけれどもよろしいわけですか。すいません。

9番 竹沢議員 教育次長 あの要するに施設で使つた電気ですと余剰電力が出ると思ひますけれどもそのやり方。文部科学省で示す基準によつての、あくまでも試算でございますが、今あの3校で平成20年度の実績とちょっと比較をしてあるような格好でございますが、今現在あの経済効果的に見ますと削減のできる電力量これが148,000キロワットアワー、それから金額にしますと1,710,000円くらい、で3校全体の20年度実績に比べまして22%くらいの削減が可能というような試算をしております。それからあの売電の関係でございますけれども約26,000キロワットアワー、これ3校合わせてでございますが、金額にしまして636,000円くらい、実績の実際の電気量をこれを基に比較しますと約8%くらいの売電が可能というようなことで、一応今の所の試算で申し訳ないんですが、そういったものに期待をしております。

議 長 他にありませんか。

2番
中村議員

LEDの関係で関連ですけれども、先程あの課長の方から今後のLEDを付ける場合にですね補助額を検討しているというふうに言われましたけれども、現在その防犯灯を待ち望んでいるというか要望をされている地域もございます。その補助額の検討、まあ検討されているその結果というのはいつごろ判明するのかお聞かせください。

総務課長

今検討しているのは事務レベルでの検討でございますので、新年度からというふうな日程で作業は進めておりますが、まだあの決済を得てきちっとそういう制度がいくらになるというふうに固まったわけではございませんので、4月1日を目指しての今検討を進めているということでございます。

議 長

他にありませんか。

(なしの声)

議 長

それでは質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(なしの声)

議 長

討論なしと認めます。これで討論を終わります。

第1号議案平成21年度飯島町一般会計補正予算(第7号)を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか

(異議なしの声)

議 長

異議なしと認めます。従って第1号議案は可決されました。

議 長

これで本日の日程は全部終了しました。会議を閉じます。

ここで町長からご挨拶をいただきます。

町 長

それでは平成22年第2回飯島町議会臨時会の閉会にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。議員各位におかれましては慎重審議をいただきまして、上程をいたしました補正予算案件を原案のとおり議決をいただきまして誠にありがとうございました。今後当町における経済情勢や雇用情勢、大変まあ冒頭も申し上げましたように依然として厳しい状況が続いております中で、本日議決をいただきましたこの予算の執行につきましてはできるだけ早く早期に執行をして、その効果を上げてまいりたいというふうに考えております。国、県、町を挙げての様々な経済対策によりまして一日も早く回復を実感できる時が来ることを願っております。議員各位におかれましては時節柄健康には十分ご留意をいただきまして、一層のご活躍を心からお祈り申し上げまして議会閉会にあたってのご挨拶といたします。ありがとうございました。

議 長

以上をもって平成22年第2回飯島町議会臨時会を閉会します。ご苦労様でした。

午前11時05分 閉会

上記の議事録は、事務局書記 千村弥紀の記載したものであるが、その内容の相違ないことを証するため、ここに署名する。

飯島町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員